

一学期後半が始まりました 元気に学校に戻ってきくれて ありがとう 共に一歩ずつ

8月22日(水)から、長町中学校一学期後半の生活が始まりました。大きな事故なく、皆さんが学校に戻ってきてくれた事をうれしく思います。学校が再開してから数日が経過しましたので、少しずつ学校生活のリズムに戻してくださいね。

皆さんが心身共に健康で、日々の生活の中で、喜びや苦しみ、楽しさや葛藤などを共有しながら、生きていけることが大切な事だと思います。学校に戻ってきた皆さんの元気な声や活動に触れ、安心しました。

ところで、夏期休業中にも長中生の活躍は目覚ましく、運動部の上位の大会、新チームの各種大会、そして文化部の発表、コンクール等で大きな成果を残してくれました。皆さんの中には、県大会を勝ち抜いて、東北大会、そして全国大会に出場した生徒もいました。大きな壁を越えて、成長していく姿に頼もしさを感じます。

また、大会に出場するというだけでなく、地域のボランティア活動や地区清掃、「ともに！チーム長町プロジェクト特別編」等にしっかりと取り組んでくれた生徒達も多数いて、すばらしいと感じました。地域の方々からも皆さんの活動に対し、高い評価をいただいています。

昨日も地域の方々との話し合いの中で、夏祭り等での中学生のボランティア活動に対する感謝の言葉とお褒めの言葉を多数いただきました。

今は、駅伝チームが、間近に迫った市大会に向けて頑張っています。これまでの練習の成果を発揮して、悔いのない走りをしてほしいと願っています。

様々な場面で成果を残し、上位入賞を獲得できる活躍もとてもすばらしいと思いますが、夏休み中、これだけ取り組んでみようとして自分で目標を定め、その目標を達成しようとして取り組んだ生徒も多くいたのではないのでしょうか。目標を達成できた事だけではなく、それに向けて取り組もうとしたことに対し、自分自身に「○」をつけてあげてください。

学校生活に戻ると、時間で動いたり、委員会活動があったり、学校行事があったりと、休み中とは異なるあわただしい生活になりますが、自分の出来る事を自分自身と相談しながら、欲張らず、時には進み、時には戻り、休みながら、自分を見失わず、焦らずに歩みましょう。

悩みや不安な事があるときは、身近な友達、担任の先生、顧問の先生、話しやすい先生、自分が尊敬できる人、養護教諭、カウンセラー、さわやか相談員、図書事務の方々、皆さんの家族、様々な視点でアドバイスしてくれる人を頼ってください。振り返ってみると、私自身も若い時分は、悩みや不安を、時には先輩に、時には友人に打ち明ける場合も多くありました。最終的には自分で解決しなければならないのですが、話をして自分自身の心を整理できるという事が、大きかったように思います。そして何より、聞いてくれた事、聞いてくれた人がいた事に満足し、安心して、次に進めたのだと思います。まだまだ暑い日が続きますが、心身の健康状態を把握しながら、共に一歩ずつ進みましょう。